

# 行政区 再編

行政区は、地域住民の福祉向上や地域コミュニティの醸成に大きく寄与するとともに、住民と行政の架け橋となるなど重要な役割を果たしています。

しかし、町の財政難や過疎化により世帯数が年々減少するなど、課題があるのも事実です。また、今後は行政区の役割も大きく変化していくことも予想されます。町では、小規模行政区の再編について検討を始めています。今月は行政区の課題について、みなさんと一緒に考えたいと思います。

## 行

政区は、地域住民の福祉の向上やコミュニケーションシヨンづくりが大きく貢献するとともに、町と住民を結び基礎的な組織として重要な役割を果たしています。また、阪神淡路大震災をはじめとする大災害での教訓から、住民同士の絆の重要性が再認識されたことは記憶に新しいことだと思えます。

町では、本格的な地方分権時代を迎え、地域の住民自らが自らの地域のことを考え、自らの手で治めていくという「住民自治」の重要性が高まる中、行政区を地域課題解決のための一番身近で基礎的な団体として、さらには、公共的

活動を担う協働の基盤として今後の活躍を期待しています。しかし、現在の行政区の組織・運営は大きな2つの課題を抱えています。

まず1つは、行政区の規模です。町の行政区設置条例は、設置基準戸数を20戸以上（市街地区にあつては50戸以上）と定めています。現在は、66の行政区が設置されていますが、過疎化を背景とした世帯数の減少で半数近くの31行政区がこの設置基準を満たしていません。4世帯という小さな行政区から100世帯という大きな行政区まであります。

もうひとつの課題は、町の厳しい財政状況です。行政区の振興助

成金や地域会館等の維持費など今年度の経費は、約1100万円。

左上の表を見ると、この経費の大部分を会館の維持経費等と区長報酬が占めているということがわかります。行政区の運営経費は他の事業と同様、できる限り削減に努めています。これ以上の削減が難しくなっています。

町では、これらの課題を解決する手段として、小規模行政区の解消と公民館などの類似施設の活用により会館施設などの整理・統合をしていきたいと考えています。

行政区の再編・合併は、所有する財産の関係、市街地以外では通常の生活圏を越えた行政区ができ



幾千世行政区の馬頭観音祭での餅まき。行政区の再編・合併では各種行事のあり方など多くの問題が予想されます。

■行政区関連予算（当初）

内 訳	金 額
振興助成金	126万円
区長報酬	395万円
会館維持費等	596万円
その他	13万円
合計	1,130万円

る、市街地では商店街と住宅地と  
 いうような質の異なったエリアが  
 合併すると、住民間の考え方や行  
 事のあり方にギャップが生じるな  
 ど、さまざまな問題が予想されま  
 す。今後、行政区長を通じた懇談  
 会を開催するなど、皆さんと協議  
 し、時間をかけて進めていきます。  
 町としても「行政区」の今後の  
 目指すべき将来像や機能について  
 示していく必要があります。これ  
 までの行政区を介した行政と町民  
 との関係は、行政情報を地域に流  
 す、地域の要望を行政に伝えると  
 いったものでした。しかし今後は、  
 新しい時代にふさわしい協働関係  
 をつくり、さまざまな地域の力が  
 活かされる環境づくりに努めなけ

■各行政区の世帯数および会館など

行政区名	世帯数	地域会館等	行政区名	世帯数	地域会館等
川上	12	川上近隣センター、川上会館	厚内1区	6	
栄穂	16	"、栄穂会館	厚内2区	60	
貴老路	61	貴老路第1会館	厚内3区	28	
恩根内	10	恩根内部落会館	厚内4区	45	
川流布	16	川流布会館	厚内5区	34	
宝生	40		直別	16	直別会館
合流	28		帯富	28	帯富会館
相川	23	上浦幌地域会館	万年	18	万年会館
富川	22	"、富川会館	本町	45	
美園	37	上浦幌地域会館	栄町1区	34	
活平	24	活平地区集会所	栄町2区	27	
瀬多来	7	瀬多来会館	緑町	58	緑町会館
留真	10	中浦幌地区集会所	新町	56	
円山	10	円山会館	桜町	25	
常室	18	常室児童館、常室会館	東山町1区	44	東山福祉館
常豊	10	"、常豊会館	東山町2区	77	"
幾千世	21	幾千世地区軽入所、幾栄部落会館	幸町	81	
稲穂	20	稲穂会館	寿町	99	
平和	7	吉野地区集会場、平和会館	末広町	18	宝町福祉館
吉野1区	24		材木町	5	
吉野2区	15		住吉町1区	78	住吉会館
吉野3区	22		住吉町2区	77	"
共栄	60	共栄会館	南町1区	100	南町福祉館
統太	10	統太会館	南町2区	60	"
生剛	6	新養老コミセン、生剛会館	光南	95	光南福祉館
養老	13	新養老コミセン	宝町1区	51	宝町福祉館
朝日	16	新養老コミセン、朝日会館	宝町2区	50	"
愛牛	16	愛牛会館	宝町3区	40	"
豊北	22	新養老コミセン、豊北会館	北町1区	80	"
十勝太1区	10	十勝太コミセン、十勝太産業会館	北町2区	82	"
十勝太2区	37	十勝太コミセン	北町3区	91	"
静内	11	静内会館	北栄1区	64	北栄地域会館
上厚内	4	上厚内会館	北栄2区	76	"

ればなりません。「してあげる・し  
 てもらう」から「力を出し合う」  
 関係への転換を図り、双方向での  
 コミュニケーションをとりながら、  
 互いの立場やできることを確認し  
 あって取組んでいくことが重要と  
 思われます。

財政的支援策の再構築も必要で

す。行政区振興助成金などの財政  
 支援は、財政難を理由に削減する  
 のではなく、活動に見合った助成  
 方法の検討など地域が自らの主体  
 的な活動や行政との有効な協働に  
 取組めるよう支援することが求め  
 られます。

浦幌町において、行政区の再編

や協働の推進は、住民自治の確立  
 につながる大きなテーマと考えら  
 れます。地域が持っている多様な  
 力が十分に活かされるよう、総合  
 的な支援策や環境づくりなど、行  
 政区のあり方について、みんなで  
 考えていかなければならない時機  
 に到来しています。